

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、1月19日01時27分に小規模な噴火が発生しました。本日（21日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）は九州地方整備局と共同で上空から調査を実施しました。新燃岳火口内の S19 噴気孔が拡大し、その周辺に噴出物が厚く堆積している状況から S19 噴気孔で噴火したと推定されます。また、火口周辺と火口から南東方向に明瞭な降灰の痕跡を確認しました。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

平成 22 年 5 月 6 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動状況（図 1～3）

本日（21日）、気象庁機動調査班（JMA-MOT）は九州地方整備局と共同で上空から調査を実施しました。

昨年（平成 22 年）5 月 27 日の噴火により形成された S19 噴気孔が拡大し、周辺には火山灰等が厚く堆積している状況から S19 噴気孔で噴火したと推定されます。また、火口内には噴石が飛散し、噴煙活動はやや活発でした。

新燃岳火口周辺と同火口から南東方向に明瞭な降灰の痕跡を確認しました。

19 日 13 時頃から振幅の小さな火山性微動が 21 日 18 時現在も継続しています。

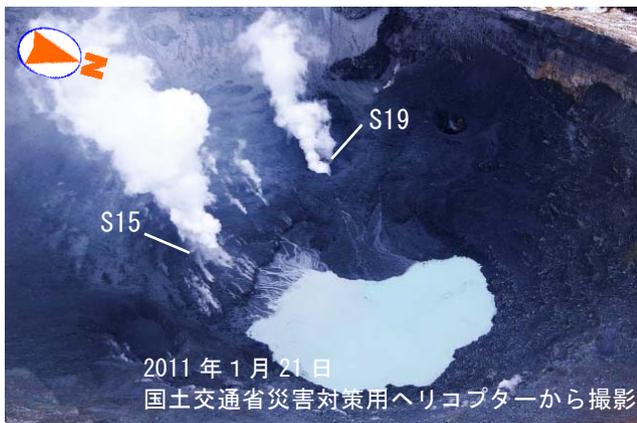


図 1 霧島山（新燃岳） 火口の状況

S19 噴気孔が拡大し、火口内に噴出物が厚く堆積していました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号：平 20 業複、第 647 号）。

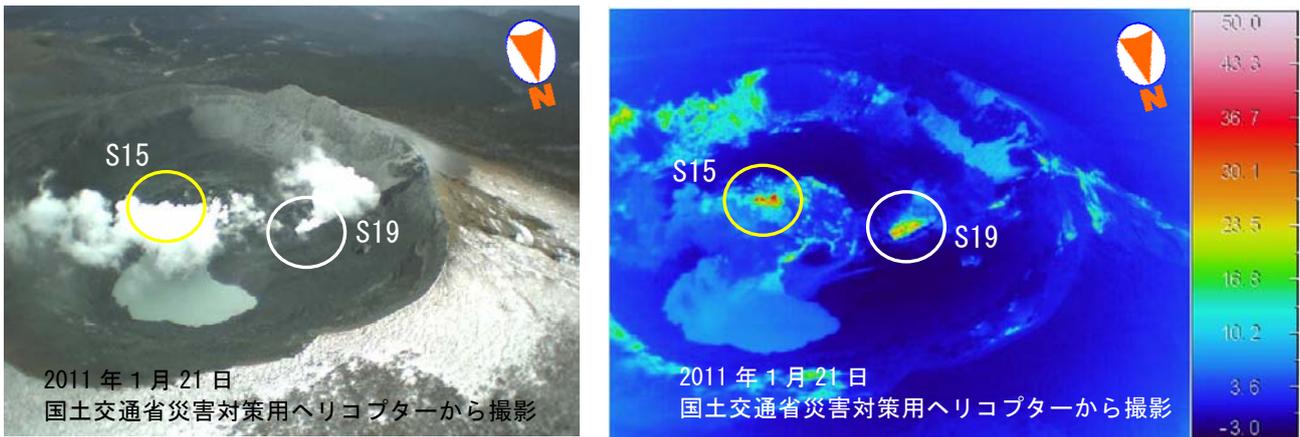


図 2 霧島山（新燃岳） 赤外熱映像装置¹⁾による火口付近の地表面温度分布
噴煙活動がやや活発な S15、S19 噴気孔では、赤外熱映像装置による観測で熱異常域を確認しました。

- 1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

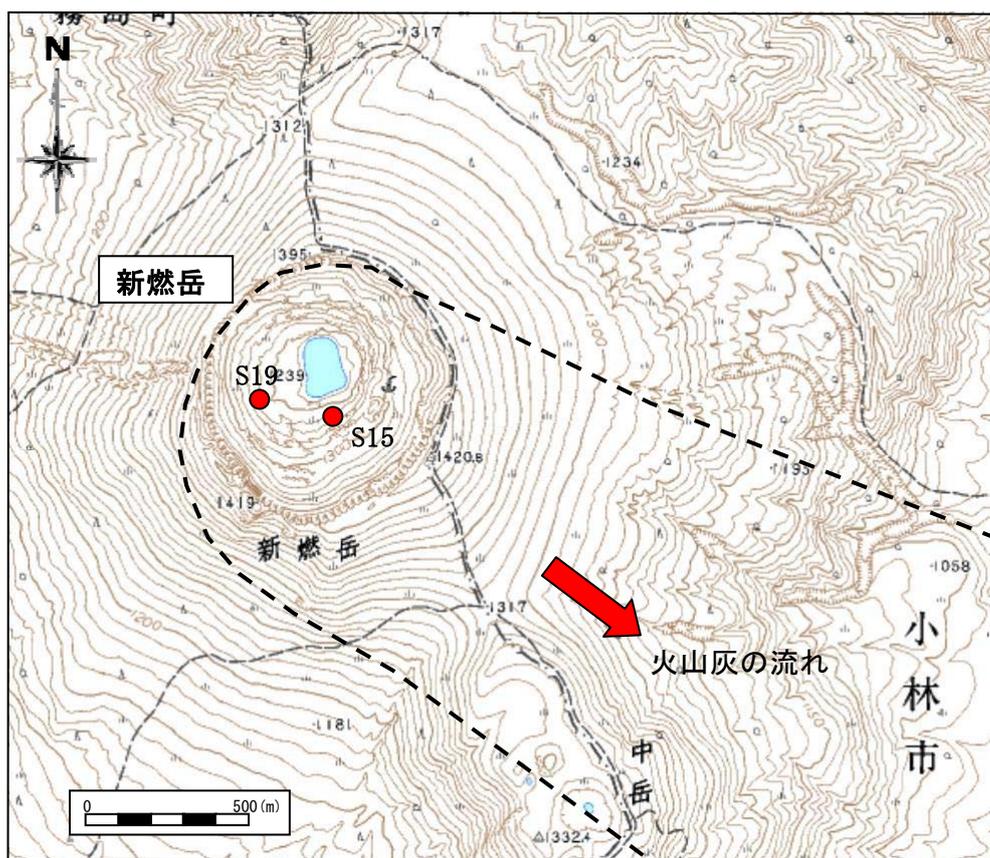


図 3 霧島山（新燃岳） 噴気孔の位置と 1 月 19 日の噴火による降灰の状況
火口周辺と火口から南東方向に明瞭な降灰の痕跡を確認しました。